

2024年10月10日
電源開発株式会社
九州電力株式会社

JOGMECより「先進的CCS事業」に関する調査業務を受託しました

— マレー半島沖南部CCS事業の共同検討の開始 —

電源開発株式会社（以下「Jパワー」）及び九州電力株式会社（以下「九州電力」）は、関西電力株式会社、コスモ石油株式会社、中国電力株式会社、三井物産株式会社（以下「三井物産」）、株式会社レゾナック、UBE三菱セメント株式会社（五十音順）と共同で、独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（JOGMEC）の令和6年度「先進的CCS事業に係る設計作業等」に関する公募において、マレー半島沖南部CCS事業の調査業務^{※1}を受託しました。

Jパワー及び九州電力は、本委託調査業務のうち、それぞれが九州エリアに所有する火力発電所の排ガスからCO₂を回収し、三井物産が開発を進めているマレー半島沖のCO₂貯留サイトへ貯留するCCS（Carbon dioxide Capture and Storage：二酸化炭素回収・貯留）事業に関連する共同検討を開始します。本共同検討では、排ガスからのCO₂の分離回収、液化・貯蔵、及び液化CO₂出荷に係る各設備について、仕様やコストなどの検討を行います。

Jパワーは、CCSをはじめCO₂フリー水素発電やアンモニア発電など最適な技術を選択し、電力の安定供給に貢献しながら石炭火力の低炭素化・脱炭素化を図り、2021年2月にJ-POWER“BLUE MISSION 2050”で掲げたカーボンニュートラルの実現に向けて挑戦してまいります。

九州電力は、「九電グループカーボンニュートラルビジョン2050」において、電源の低・脱炭素化に取り組んでいくこととしており、今回検討するCCSをはじめとした様々な手段を通じてカーボンニュートラルの実現に挑戦してまいります。

両社は、日本政府が目指す2050年カーボンニュートラルの実現に貢献できるよう、一丸となって本共同検討に取り組んでまいります。

※1 2024年6月28日 JOGMECプレスリリース [「CCS事業化に向けた先進的取り組み～2030年度までのCO₂貯留開始に向け、設計作業等について9案件を候補として選定～」](#)

以上